

太平洋工業(株) 工場立地協定締結式 栗原市



▲太平洋工業株式会社と工場立地協定を締結

企業の誘致を進め、自動車関連産業など 4社の誘致、1千人の雇用を実現させます



▲TG東日本株式会社(現 豊田合成東日本株式会社)と立地協定を締結

高速交通網に恵まれている地の利を活かした産業拠点として、三峰工業団地・第2大林農工団地の整備を行い、交通アクセスのさらなる向上を図るためのインフラ整備も積極的に推進しています。

また、企業誘致を進めるとともに、地元企業への支援や高校生の雇用拡大などの制度拡充も行い、積極的な雇用の確保に努めています。



▲県内外の発注企業と栗原・登米市内の受注企業が一堂に会するビジネスマッチング



◀就職希望の高校生と市内企業の出合いの場
くりはらジョブ・フェア



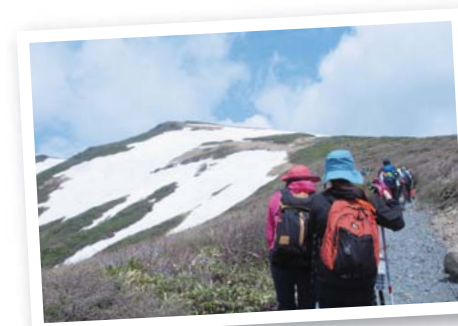
◀若柳金成インターチェンジ近くに整備中の第2大林農工団地



▲築館インターチェンジ近くに整備中の三峰工業団地



▲AKB48岩田 華怜さんに栗原ドリームアンバサダーを委嘱



▲栗駒山夏山開きで整備された登山道を登る参加者

栗原が持つポテンシャルを引き出すために、栗駒山の登山道整備や、くりでん若柳駅跡地を活用した施設整備とレールバイク乗車会の開催、栗駒山麓ジオパーク構想を推進するためのジオガイドの育成やビューポイントの整備など、観光振興のための基盤整備を進めています。

また、テレビやラジオでのコマーシャルの放送や雑誌への広告掲載などの一大キャンペーンの展開、栗原ドリームアンバサダーの委嘱など、積極的かつ大胆な情報発信を行っています。



▲くりでん若柳駅跡地を活用したくりでんレールバイク乗車会



▲テレビで放送された栗原市観光CM秋バージョン



◀ジオガイド養成講座



◀栗駒山麓ジオパーク構想を推進のため、ジオサイトを案内するガイド

観光客数を、77万人から
200万人まで増やします

もっと
前進!!

新たな7つの成長戦略

New Seven Point
Growth Strategy

「子育ては栗原で」をスローガンに、 若者の人口を1千人増やします

「子は何物にも優る宝」であり、健やかに成長してもらうために、子どもの医療費自己負担額分の全額助成やインフルエンザなどの予防接種費用の助成など、各種子育て支援の一層の充実を進めています。

また、若者世代の定住促進に向けて、市営住宅建築や市有地の分譲などの住環境整備や、結婚に関する支援など、各種施策に取り組みんでいます。



▲放課後児童クラブを利用する子どもたち



▲首都圏での栗原への移住に向けた相談会



▲延長保育の受け入れを拡充

幼稚園3年保育の実現と、 保育所入所の待機児童をゼロにします

遊びを通して、子どもたちの生活や学習の基盤を育むために、幼稚園・保育所一体型の施設を基本とした築館地区、栗駒地区、志波姫地区などの市立幼稚園の整備を推進し、すべての幼稚園での3年保育の実現を図ります。

また、保育所の乳幼児の入所定員を増やすための施設改修や0歳から2歳児の保育を行っている小規模保育所への支援などを行い、保育所の入所機会の確保に取り組んでいます。



▲保育所で給食を食べる子どもたち



▲乳児保育の受け入れを拡充



▶保育所でボール遊びをする子どもたち



▲新しくなった築館幼稚園



▲志波姫地区幼保一体施設の完成イメージ
(平成27年12月完成予定)



▲預かり保育を利用する子どもたち



◀栗駒地区幼保一体施設建設工事の安全祈願祭
(平成28年2月完成予定)



▲専門の講師を招き婚活の必要性を勉強



◀定住促進のために建築された下藤沢住宅
[瀬峰]



◀独身男女の出会いなどのサポート活動をするくりはら婚活プランナー第1号に認定された伊藤 俊さん(栗駒若木)

◀若者の定住促進のため市有地を分譲地として整備[一迫]

「学府くりはら」を目指して、 小・中学生の学力をレベルアップします



▲タブレット端末を利用した授業

学校と家庭、地域が相互に連携して、将来を担う子どもたちの「生きる力」である、人問力の基礎となる学力、道徳性、ふるさとを愛する心、健康・体力を育むために、市費負担教員を採用した「少人数学級」や、宮城教育大学との連携による「学府くりはら塾」などを進めています。

また、市独自の教育研究センター設置や、タブレット端末を活用した授業などにより、学力向上に取り組んでいます。



▲夏休みに「英語でチャレンジ」

◀ホッケー競技国際交流事業でオーストラリアチームとの交流試合



◀市費負担教員による授業風景



▲教育研究センター開所式[金成]

◀夏休みを利用した学府くりはら塾の授業風景



高齢者の施設入所 待機者300人を半分にします

生涯にわたって生きがいを持ち、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく健康的な生活を送れるよう、足腰などの運動機能の維持・向上を目指した「介護予防運動教室」、閉じこもりを予防し交流の輪を図ることを目的とした「高齢者生きがい活動支援通所事業」など介護予防事業の充実や高齢者の社会参加に取り組んでいます。

また、介護サービスの充実を図るとともに地域密着型介護施設の整備を促進します。



▲老人クラブの食育研修会



▲脳いきいき教室

◀高齢者生きがい活動支援通所事業で子どもたちと交流



▲足腰元気アップ教室

◀くりはら元気応援! 運動教室



▲花山中学校跡地に建てられた地域密着型特別養護老人ホーム「しゃくなげの里」[花山]

市立病院の医師を増やし、充実させます

市民の皆さんに、充実した診療を提供し、安心して暮らしていただくために、医師・看護師などの医療スタッフの確保のための取り組みを継続するとともに、医師招へいのための生活環境整備や医療機器整備、医師の長期研修制度など、新たな施策にも取り組んでいます。



▲ 栗原中央病院での診察の様子



◀ 栗駒病院

▲ 若柳病院

▲ 栗原中央病院

◀ 医師招へいのために若柳病院の医師住宅を整備



▲ 高清水診療所に導入した太陽光発電設備



▲ 院長回診で研さんを積む研修医



医療機器の整備▶

A Key Industry
Of Kurihara

栗原市の基幹産業「農業の振興」

豊かな自然に育まれた 栗原の農業

農業は、市の基幹産業として位置付けており、ほ場整備のほか、6次産業の推進やくりはら和牛の郷づくり事業の拡大など、独自の施策に取り組んでいます。
市の農業振興のため、国の農業政策の動向を見極めながら、関係団体と連携し、さまざまな施策を進めていきます。



▲ 深山牧場に放牧された牛



▲ ねじり ほんによ



▲ 6次産業化推進説明会



▲ 農産物の即売



▲ 道路・用排水路・大区画のほ場が整備された沖富地区[築館]